

研修部会活動報告（2004年度）

板橋研修室長 木原正雄

1. 板橋校舎では、本年度、法職コース及び司法書士コースの研修講座を開講した。なお、各コースの受講者は、法職コース：法律学科3年4名、4年3名、卒業生7名、合計14名、司法書士コース：法律学科3年1名、4年1名、合計2名であった。

2. 各コースの講座実施状況は、以下の通りである（実施回数は、12月末現在とする）。

(1) 法職コース

民法Ⅳ（田中保彦講師・20回）

商法 開講せず

民事訴訟法（江藤价泰講師・17回）

刑事訴訟法 開講せず

民法総合演習（豊田正明講師・24回）

憲法論文演習（坂口禎彦講師・21回）

民法論文演習 開講せず

刑法論文演習（豊島住夫講師・20回）

(2) 司法書士コース

不動産登記法（小日向孝介講師・20回）

総合演習（小日向孝介講師・2回）

商業登記法（足立啓明講師・10回）

司法書士法（足立啓明講師・10回）

供託法（足立啓明講師・2回）

3. 本年度も昨年度同様、本学法学部法律学科より1名の司法試験の合格者が生まれた。受講生のさらなる研鑽を期待しているところである。

なお、本年度から、公務員コースは就職部に、宅建コースはエクステンションセンターに移管された。これは、全学的に公務員試験と宅地建物取引主任者試験の合格者の増加をめざして、学内諸機関の連携を強化し、人的物的資源を集約化、効率化するためであるが、数年間にわたり成果を見守る必要がある。

研修室は、利用者のニーズに十分応えているとはいえない状況もあり、さらなる改善を行う必要がある。